

# 村松商工会「令和2年度 景況調査」報告書

(様式④)

組織番号： 0 2 2

商工会名： 村松商工会

報告者名： 主任 本間 一志

## 1. 調査要領

(1) 調査対象 (R02. 10. 31現在の商工会普通会員すべてに配布)

- ① 対象地区 村松商工会地区内小規模事業者及び中小企業者
- ② 対象企業数 479 社 (うち小規模事業者数 457 社)
- ③ 回答企業数 **362** 社 (うち小規模事業者数 **344** 社)  
(回答率： **75.6%** )

(2) 調査対象期間

令和2年7月～令和2年12月

(調査時点：令和2年12月1日現在)

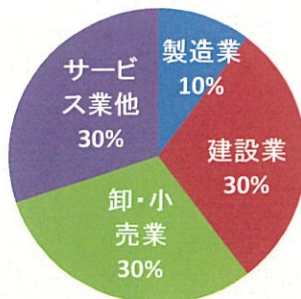
(3) 調査方法

経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査  
及び郵送による配布・回収

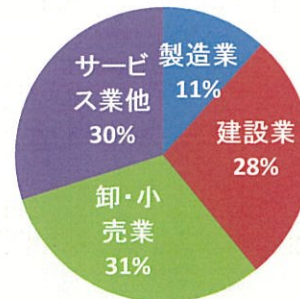
(4) 調査対象と回答企業の構成

業種	調査対象		有効回答		
	企業数	構成比	企業数	構成比	業種別回収率
製造業	49	10.2%	<b>42</b>	11.6%	85.7%
建設業	141	29.4%	<b>100</b>	27.6%	70.9%
卸・小売業	145	30.3%	<b>112</b>	30.9%	77.2%
サービス業他	144	30.1%	<b>108</b>	29.8%	75.0%
合計	479	100.0%	<b>362</b>	100.0%	75.6%

《調査対象企業数/ 479社》



《有効回答企業数/ 362社》





## 2. 地域内産業全体の景況概要

地区内会員企業の景況は、従前の消費税増税の影響に加えて新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う需要減少・消費の冷え込みにより業種を問わず低迷しており、経営環境は非常に厳しい状況となっている。「売上」「採算」について「減少」「悪化」と回答している企業は前年度調査時に比べ2割前後増加。また、前年度調査時において上昇傾向にあった「仕入単価」について9割弱の企業が「増加」「不変」と回答しており、「仕入単価」は高止まりとなっている状況が伺え、企業の収益に影響を及ぼしている。一方で「雇用動向」については8割以上の企業で不変と回答しており、経営環境が厳しい中でも一部で雇用を維持していることが伺える。「景況判断」については今後「悪化」する見通しと回答している企業が7割強となっており、新型コロナウイルス感染収束への期待は薄く、今後の先行きの不透明感から慎重な見方が多い。経営上の課題については、「需要の停滞」、「受注・販売競争の激化」が依然として上位となっている他、「店舗・設備等の老朽化」が前年度調査比で56.8%増加しており、今後の景況感から必要な設備投資に対して慎重な対応をとっていることが伺える。詳細は、以下のデータを参照のこと。

### 【後継者の状況】

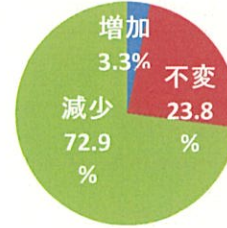
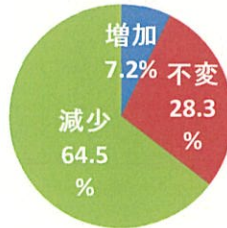
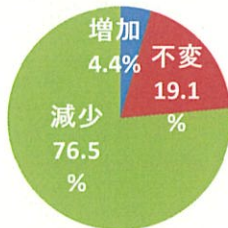
回答企業全体の64.9% (235社/前年度調査62.8%、前年度比+2.1%) において、現時点では後継者が「無い」と回答しており、依然地区内小規模企業等(会員)における後継者難が大きな課題となっている。

後継者 有	127社	35.1%
後継者 無	235社	64.9%

### 【売上高】

「売上高」は、全期を通じ7割前後「減少」と回答、新型コロナウイルス感染拡大による巣ごもり需要など一部業種で業績が堅調となったものの、多くの企業で需要減少・消費の冷え込みの影響により厳しい経営状況となっている。そんな中、緊急事態宣言解除後の消費抑制の緩和により一部の企業で前期比(R2年1~6月との比較)において「増加」とする回答が7.2%あった。なお、今後の見通しについて「減少」と予想する回答が前年度調査比17.5%増加している。

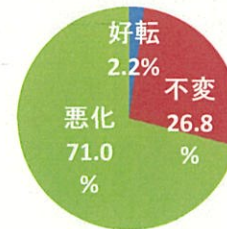
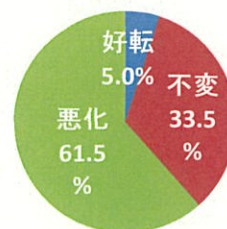
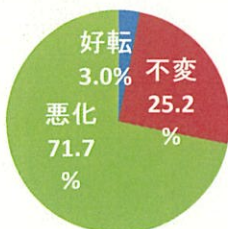
前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
16	69	276	26	102	233	12	86	264



### 【採算(経常利益)】

「売上」と関連して「採算」についても「悪化」と回答する企業が7割前後となり、コスト削減等の経営努力が伺えるものの厳しい状況となっている。厳しい経営環境の中、緊急事態宣言解除後の消費抑制の緩和により一部の企業で前期比(R2.1~6月との比較)において「好転」とする回答が5%あった。しかし、新型コロナウイルス感染拡大は加速しており、今後の見通しとして「悪化」と回答した企業は前年度調査時と比べ15.9%増加するなど厳しい予想となっている。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
11	91	259	18	121	222	8	97	257





## 【仕入単価】

「仕入単価」については、「上昇」とする回答は2割強、「不変」と回答する企業が65%前後で推移しており、令和元年10月の消費税増税に伴って上昇した「仕入単価」は高止まりの状況となっていることが伺える。今後も「不変」とする企業が約65%となっているが、新型コロナウイルス感染拡大による景気動向によっては、物価が上昇する可能性もある。「仕入単価」の増減は、採算悪化の大きな要因となっており、原価管理の徹底・調達方法等の検討しながら、今後の経済動向など注意が必要である。

前年同期比

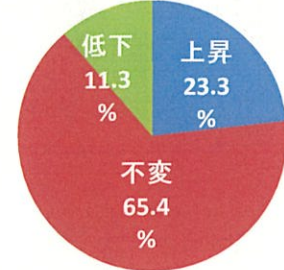
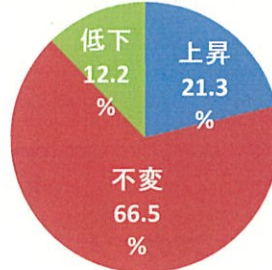
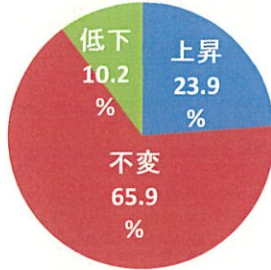
上昇	不変	低下
82	226	35

前期比

上昇	不変	低下
73	228	42

今後の見通し

上昇	不変	低下
80	225	39



## 【販売(客)単価】

「販売(客)単価」については、「不変」が最も多く全体の5割程度、次いで「低下」が4割前後となっている。売上とともに比較すると売上の「減少」が7割、「不変」が2割強となっていることから、売上の減少要因はコロナ禍の消費の冷え込みによる客単価の低下が伺える。今後、感染拡大による経済活動の停滞が長期化し雇用・所得への不安が高まった際、更なる落ち込みが懸念される。

前年同期比

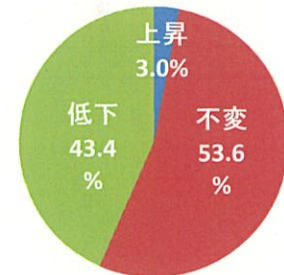
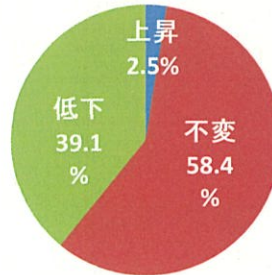
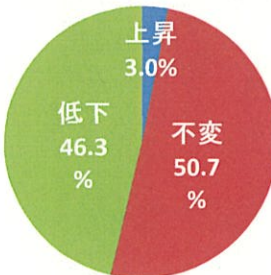
上昇	不変	低下
11	183	167

前期比

上昇	不変	低下
9	211	141

今後の見通し

上昇	不変	低下
11	194	157



## 【資金繰り】

「資金繰り」については、「不変」が5~6割、「悪化」が4割程度となっており、前年度調査と比較して「悪化」に転じた企業は各期において約1割前後増加している。ただ、「売上」や「採算」の悪化と比較すると影響は少なく、国や県、自治体によるコロナ対策助成金や融資制度を活用して資金繰りの円滑化を図ったことが伺える。ただ今後の見通しが不透明なうえ、返済据置で資金調達した企業も見受けられることから、収益力向上のための方針を検討し資金繰りに注意していくことが必要となる。

前年同期比

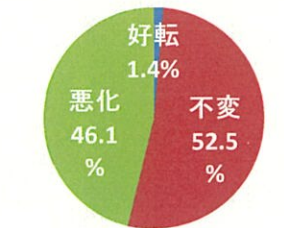
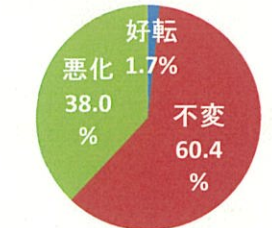
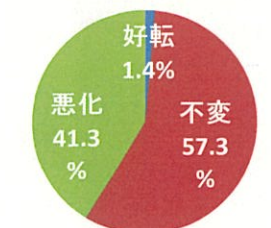
好転	不変	悪化
5	207	149

前期比

好転	不変	悪化
6	218	137

今後の見通し

好転	不変	悪化
5	190	167





## 【雇用動向】

雇用動向については、「減少」と回答した企業は15%前後、「不変」が全体の8割強と前年度調査と比べ大きな変化はなく、経済状況が厳しい中でも一部で雇用を維持していることが伺える。業種によっては慢性的な人材不足が続く中で収益力低下により雇用の創出が難しく「増加」と回答した企業は僅か2%程度となっている。今後も新型コロナウイルスの影響は続くものと見込まれ、需要減少・消費の冷え込みによる収益力の悪化とともに雇用状況の悪化が懸念される。

前年同期比

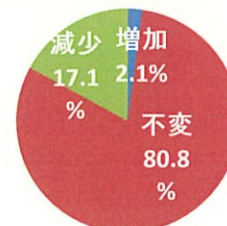
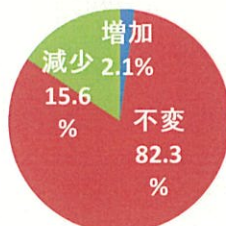
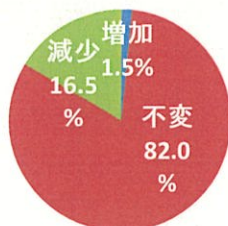
増加	不変	減少
5	273	55

前期比

増加	不変	減少
7	274	52

今後の見通し

増加	不変	減少
7	270	57



## 【景況判断】

景況判断については、新型コロナウイルスの影響により「悪化」とする回答が各期とも大幅に増加した。外出自粛による消費の冷え込みと需要減少による要因が大きく7割強を占めた。また、今後の見通しについても74.0%の企業が「悪化」と回答しており、感染防止策によって需要面・供給面ともに制約される経済環境の中で先行き不透明感の高まりから慎重な見方が広がっていることが伺える。

前年同期比

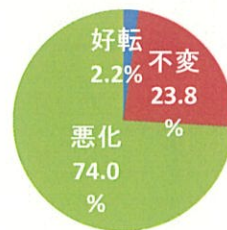
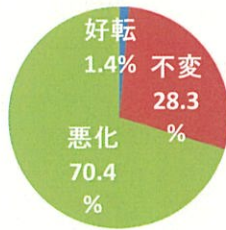
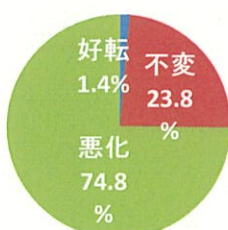
好転	不変	悪化
5	86	270

前期比

好転	不変	悪化
5	102	254

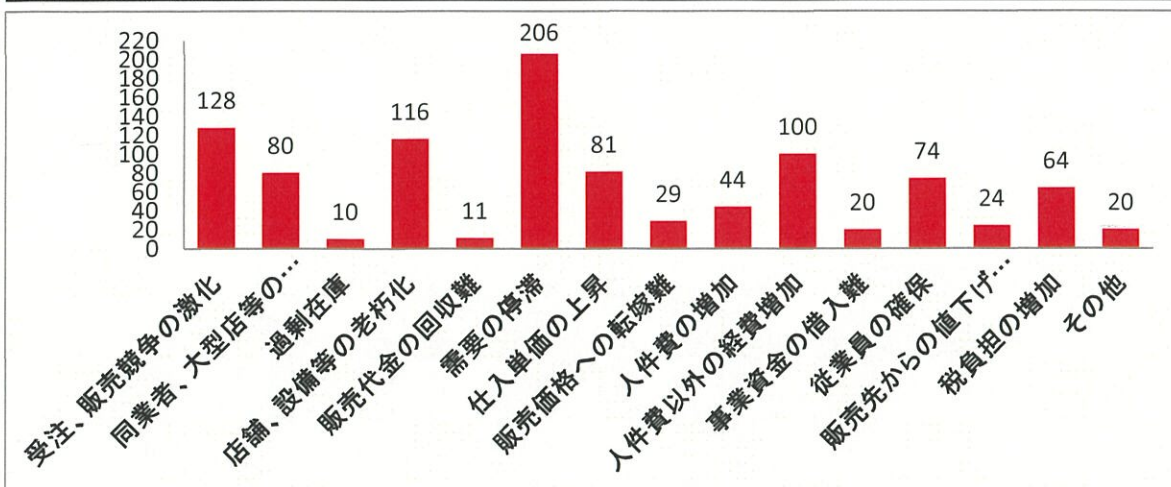
今後の見通し

好転	不変	悪化
8	86	268



## 【経営上の問題点】

1位「需要の停滞」、2位「受注・販売競争の激化」、3位「店舗・設備等の老朽化」となり、新型コロナウイルス感染拡大による需要減少・消費の冷え込みの影響を受けている。特に3位「店舗・設備の老朽化」が前年度調査時より56.8%増加しており、今後の先行き不安による設備投資への慎重な姿勢が伺える。一方、「仕入単価の上昇」との回答は前年度調査時より38.6%減少しているものの、仕入単価の高止まりは続いており、今後も対応策を検討する必要がある。また、「人件費以外の経費増加」という回答が年々増加傾向にあり、収益力悪化の要因となるためコロナ禍における経済環境の変化に対応しつつ、更なる自社コストの見直しが求められる。





### 3. 産業(業種)別景況概要

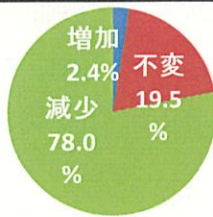
#### (1) 製造業

「売上」が「減少」したとの回答が前年同期比(R1年7~12月)37.5%増加となり、新型コロナウイルス感染拡大に伴う需要減少の影響が大きかった。また、上昇傾向である「仕入単価」では約9割の企業が「増加」・「不変」と回答、「販売単価」も5割程度「低下」と回答しており、製造コストの転嫁難が続き収益を圧迫している状況が伺える。「景気動向」では、コロナ禍の生産調整が続いていることから、前年度調査時と比べ「悪化」とする回答が他業種と比べ多かった。経営上の問題点では「需要の停滞」・「受注・販売競争の激化」が多いが、特に「店舗・設備の老朽化」について前年度調査時と比べ2.4倍となっている点が注目され、設備の更新に必要な収益力を高めるための経営方針の検討が求められる。

#### 【売上高】

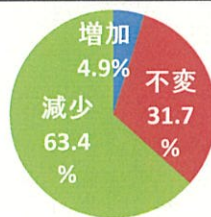
前年同期比

増加	不変	減少
1	8	32



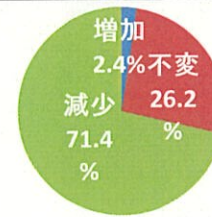
前期比

増加	不変	減少
2	13	26



今後の見通し

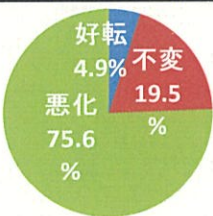
増加	不変	減少
1	11	30



#### 【採算】

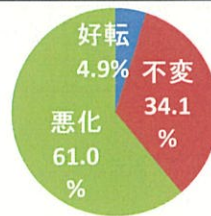
前年同期比

好転	不変	悪化
2	8	31



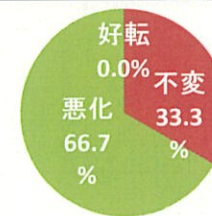
前期比

好転	不変	悪化
2	14	25



今後の見通し

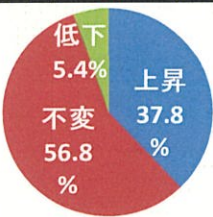
好転	不変	悪化
0	14	28



#### 【仕入単価】

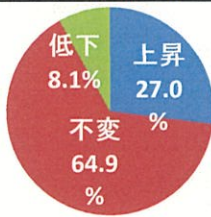
前年同期比

上昇	不変	低下
14	21	2



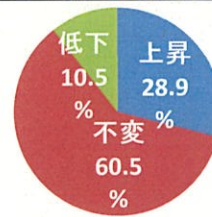
前期比

上昇	不変	低下
10	24	3



今後の見通し

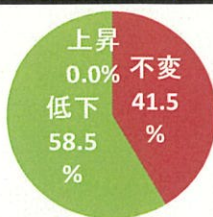
上昇	不変	低下
11	23	4



#### 【販売(客)単価】

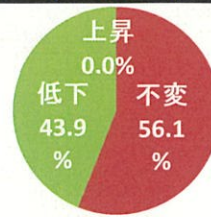
前年同期比

上昇	不変	低下
0	17	24



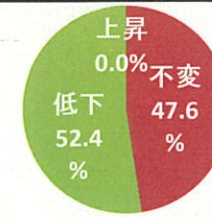
前期比

上昇	不変	低下
0	23	18



今後の見通し

上昇	不変	低下
0	20	22



【資金繰り】

前年同期比

好転	不変	悪化
0	27	14



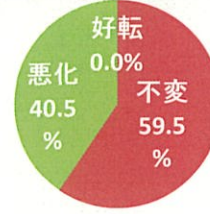
前期比

好転	不変	悪化
0	30	11



今後の見通し

好転	不変	悪化
0	25	17



【雇用動向】

前年同期比

増加	不変	減少
0	29	7



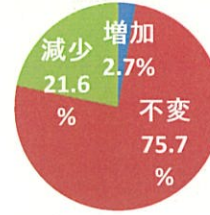
前期比

増加	不変	減少
0	27	9



今後の見通し

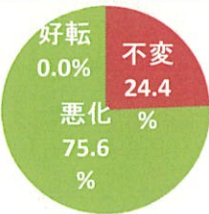
増加	不変	減少
1	28	8



【景況判断】

前年同期比

好転	不変	悪化
0	10	31



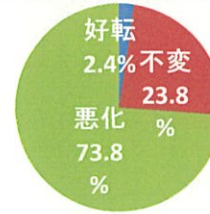
前期比

好転	不変	悪化
0	10	31

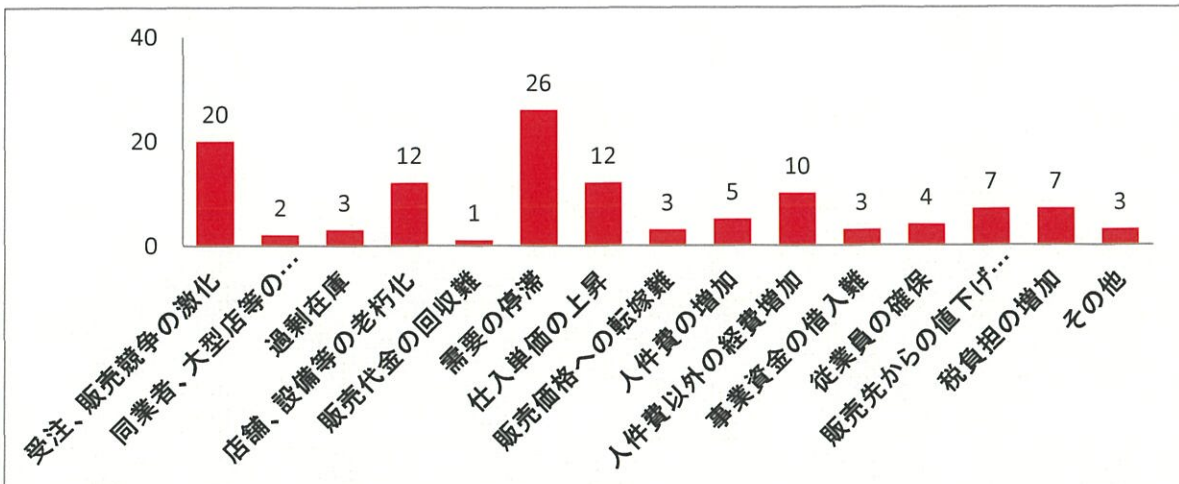


今後の見通し

好転	不変	悪化
1	10	31



【経営上の問題点】





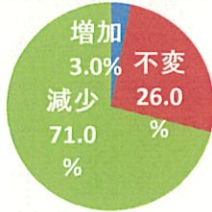
## (2) 建設業

「売上」・「採算」について、「減少」・「悪化」と回答した企業は前年度調査時と比べ2~3割増加となり、「販売単価」は「不変」との回答が7割前後であることから単価が伸び悩む中で工事の受注は減少し経営環境は厳しい状況にあることが伺える。また、「景況判断」については「悪化」する見通しとの回答が7割となり、国や自治体ではコロナ対策が最優先となっている中、今後の公共工事予算の縮小を懸念する見方がある。経営上の問題点では、1位「需要の停滞」、2位「従業員の確保」、3位「受注、販売競争の激化」となり、特に「従業員の確保」について年々増加傾向にあり、人手不足による経営への影響が拡大していることが伺える。

### 【売上高】

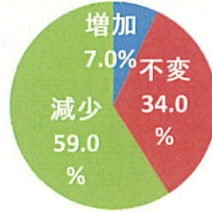
前年同期比

増加	不変	減少
3	26	71



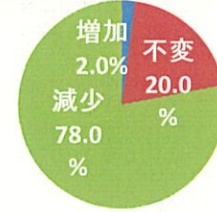
前期比

増加	不変	減少
7	34	59



今後の見通し

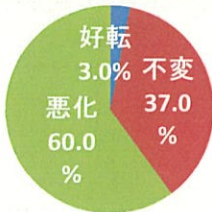
増加	不変	減少
2	20	78



### 【採算】

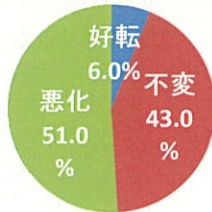
前年同期比

好転	不変	悪化
3	37	60



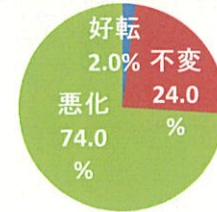
前期比

好転	不変	悪化
6	43	51



今後の見通し

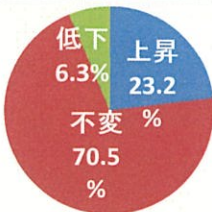
好転	不変	悪化
2	24	74



### 【仕入単価】

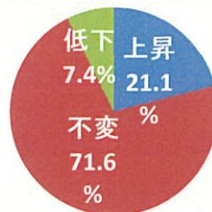
前年同期比

上昇	不変	低下
22	67	6



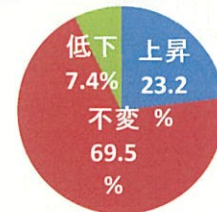
前期比

上昇	不変	低下
20	68	7



今後の見通し

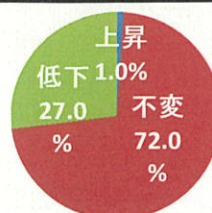
上昇	不変	低下
22	66	7



### 【販売（客）単価】

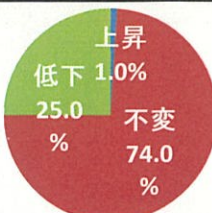
前年同期比

上昇	不変	低下
1	72	27



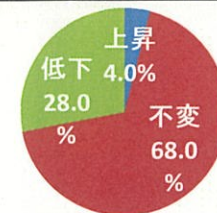
前期比

上昇	不変	低下
1	74	25



今後の見通し

上昇	不変	低下
4	68	28



### 【資金繰り】

前年同期比

好転	不変	悪化
0	59	41



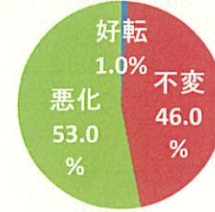
前期比

好転	不変	悪化
0	63	37



今後の見通し

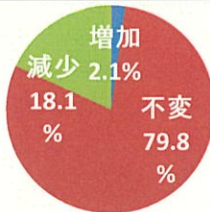
好転	不変	悪化
1	46	53



### 【雇用動向】

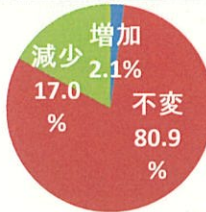
前年同期比

増加	不変	減少
2	75	17



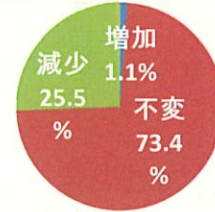
前期比

増加	不変	減少
2	76	16



今後の見通し

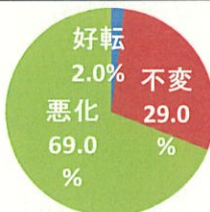
増加	不変	減少
1	69	24



### 【景況判断】

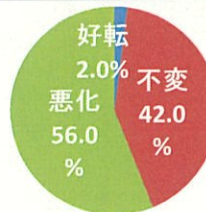
前年同期比

好転	不変	悪化
2	29	69



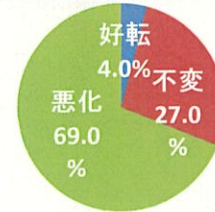
前期比

好転	不変	悪化
2	42	56

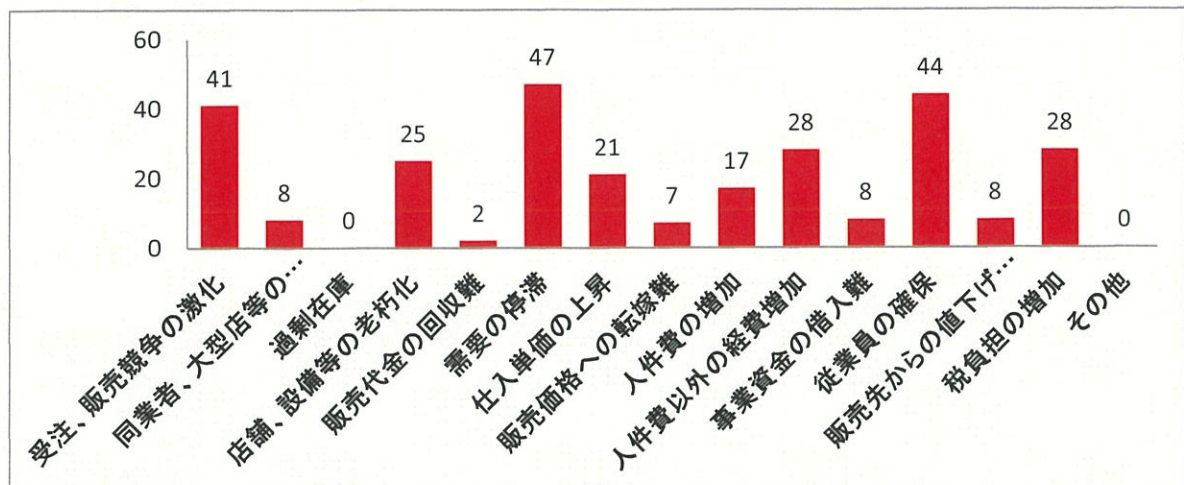


今後の見通し

好転	不変	悪化
4	27	69



### 【経営上の問題点】





### (3) 卸・小売業

「売上」・「採算」について、以前からの需要減退に加え、新型コロナウイルス感染拡大に伴う消費の冷え込みにより前年度調査時と比べ「減少」・「悪化」と回答した企業が1~2割増加した。一部生活関連業において「増加」・「好転」と回答した企業もあるが、「仕入単価」の高止まりや「販売（客）単価」の低下も重なり経営環境は厳しい状況が続いている。また、経営上の問題点では、「需要の停滞」・「同業者、大型店の進出」が上位を占めている中、「店舗・設備等の老朽化」が前年度調査時と比べ8割程度増加しており、大きな課題となっている。

#### 【売上高】

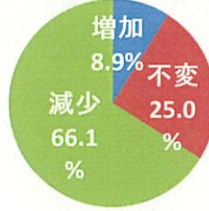
前年同期比

増加	不変	減少
5	15	92



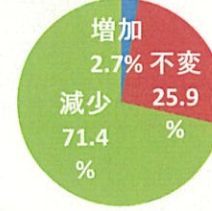
前期比

増加	不変	減少
10	28	74



今後の見通し

増加	不変	減少
3	29	80



#### 【採算】

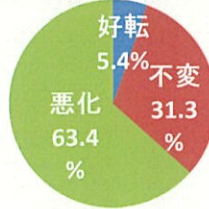
前年同期比

好転	不変	悪化
3	21	88



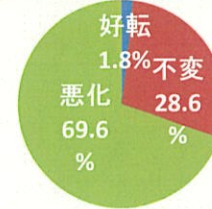
前期比

好転	不変	悪化
6	35	71



今後の見通し

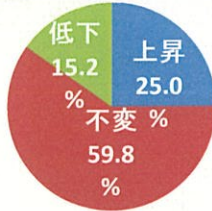
好転	不変	悪化
2	32	78



#### 【仕入単価】

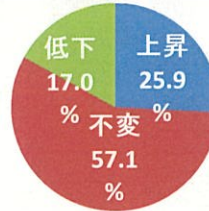
前年同期比

上昇	不変	低下
28	67	17



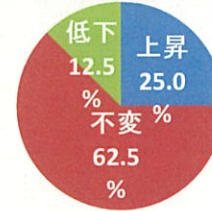
前期比

上昇	不変	低下
29	64	19



今後の見通し

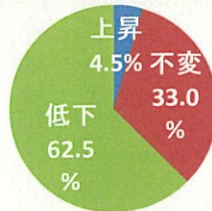
上昇	不変	低下
28	70	14



#### 【販売（客）単価】

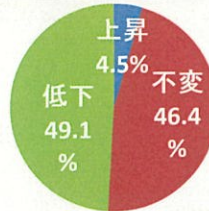
前年同期比

上昇	不変	低下
5	37	70



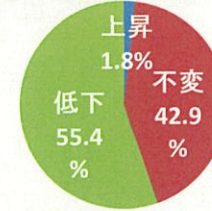
前期比

上昇	不変	低下
5	52	55



今後の見通し

上昇	不変	低下
2	48	62

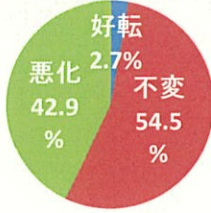




### 【資金繰り】

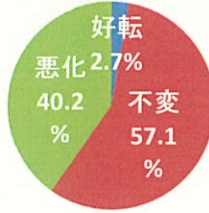
前年同期比

好転	不変	悪化
3	61	48



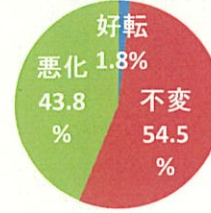
前期比

好転	不変	悪化
3	64	45



今後の見通し

好転	不変	悪化
2	61	49



### 【雇用動向】

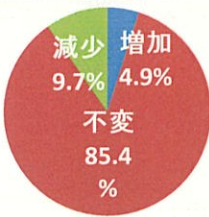
前年同期比

増加	不変	減少
3	88	12



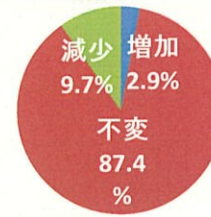
前期比

増加	不変	減少
5	88	10



今後の見通し

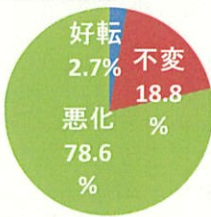
増加	不変	減少
3	90	10



### 【景況判断】

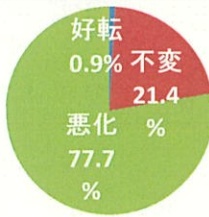
前年同期比

好転	不変	悪化
3	21	88



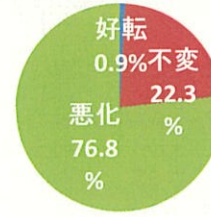
前期比

好転	不変	悪化
1	24	87

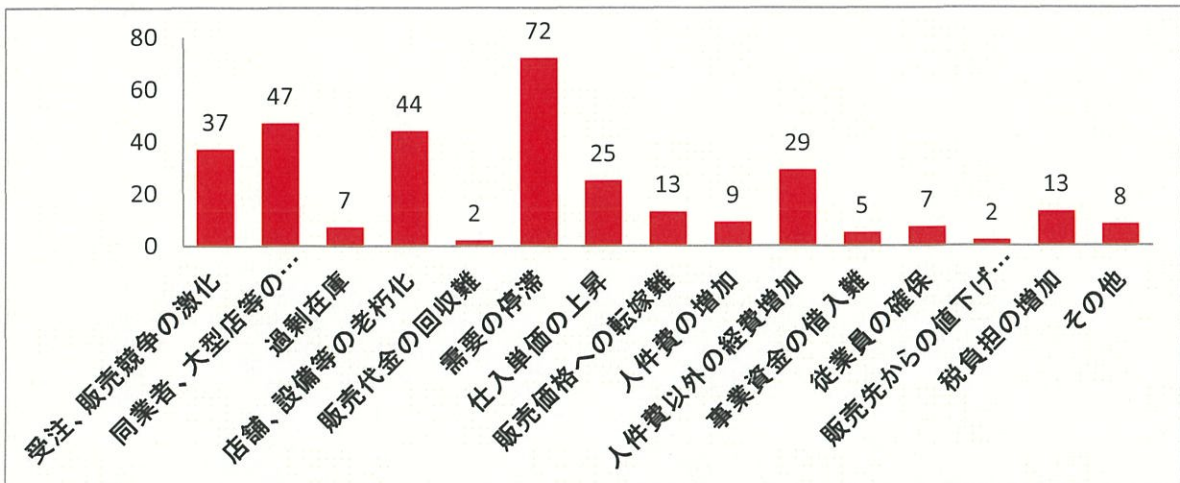


今後の見通し

好転	不変	悪化
1	25	86



### 【経営上の問題点】





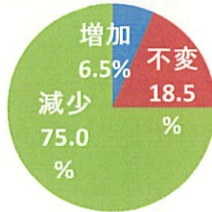
#### (4) サービス業他

「売上」・「採算」について、前年度調査時と比べ「減少」・「悪化」と回答した企業は2割程度増加となっている。特に飲食業では、新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛と消費抑制の影響から客数とともに「販売（客）単価」も「低下」と回答する企業が多く経営環境は厳しい状況である。また、「資金繰り」についても特に飲食業で「悪化」とする企業が多く、今後も新型コロナウイルス感染拡大が長期化すればさらに悪化する懸念もあるため注意が必要である。経営上の問題点では、1位「需要の停滞」、2位「店舗・設備の老朽化」、3位「人件費以外の経費増加」となっており、今後は設備の更新及び事業コストの見直しが重要な課題となる。

##### 【売上高】

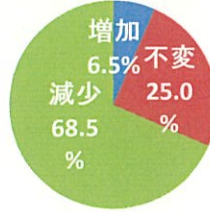
前年同期比

増加	不変	減少
7	20	81



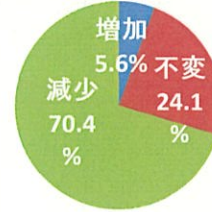
前期比

増加	不変	減少
7	27	74



今後の見通し

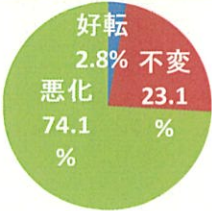
増加	不変	減少
6	26	76



##### 【採算】

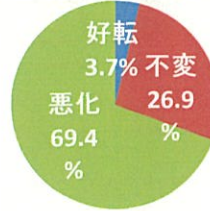
前年同期比

好転	不変	悪化
3	25	80



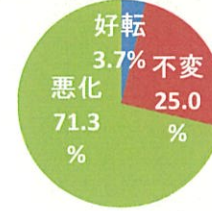
前期比

好転	不変	悪化
4	29	75



今後の見通し

好転	不変	悪化
4	27	77



##### 【仕入単価】

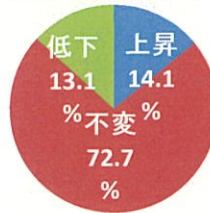
前年同期比

上昇	不変	低下
18	71	10



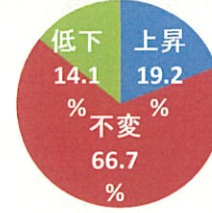
前期比

上昇	不変	低下
14	72	13



今後の見通し

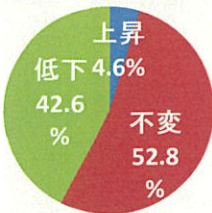
上昇	不変	低下
19	66	14



##### 【販売（客）単価】

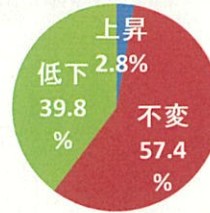
前年同期比

上昇	不変	低下
5	57	46



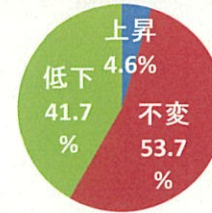
前期比

上昇	不変	低下
3	62	43



今後の見通し

上昇	不変	低下
5	58	45

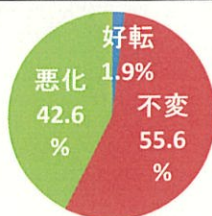




### 【資金繰り】

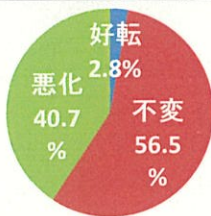
前年同期比

好転	不変	悪化
2	60	46



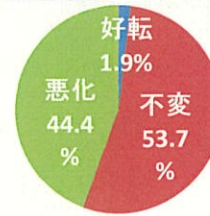
前期比

好転	不変	悪化
3	61	44



今後の見通し

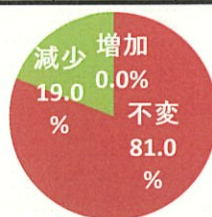
好転	不変	悪化
2	58	48



### 【雇用動向】

前年同期比

増加	不変	減少
0	81	19



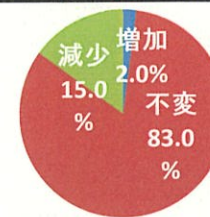
前期比

増加	不変	減少
0	83	17



今後の見通し

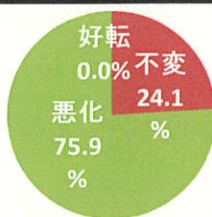
増加	不変	減少
2	83	15



### 【景況判断】

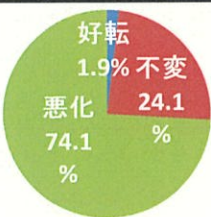
前年同期比

好転	不変	悪化
0	26	82



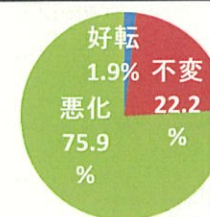
前期比

好転	不変	悪化
2	26	80

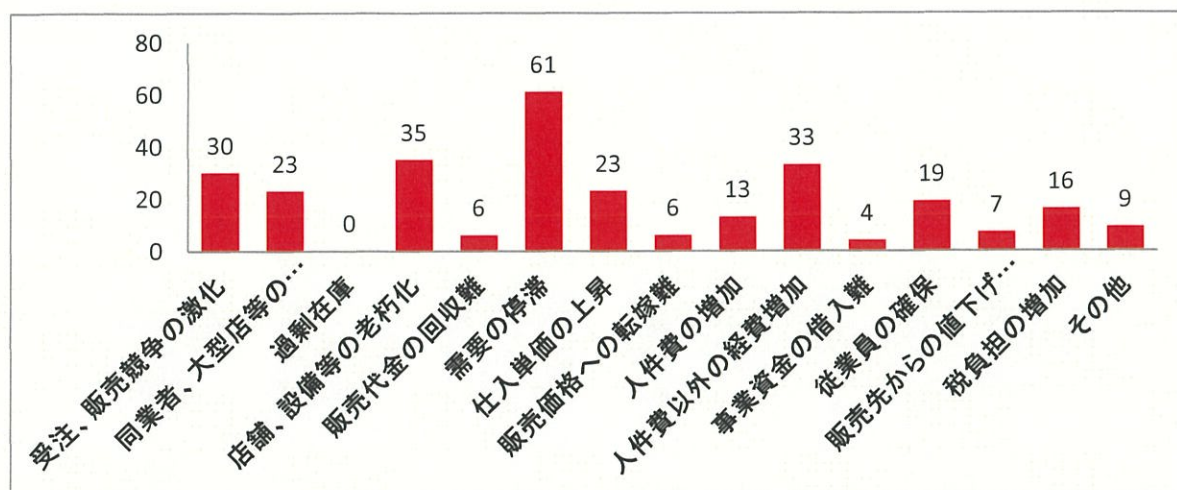


今後の見通し

好転	不変	悪化
2	24	82



### 【経営上の問題点】





## (2) 景況調査ヒアリングシート(令和2年度)

調査対象期間(下期): 令和2年7月~12月

(調査時点 令和2年12月1日)

※この調査は、県補助事業(組織力強化事業)として県内小規模企業等の経営状況を把握し、今後の事業活動の参考とすることを目的として実施するものです。ご多忙とは存じますが、調査にご協力をお願いします。  
 なお、本調査内容に係る個人情報については、統計以外の目的には一切使用いたしません。

※「企業の概要」は、「業種」・「従業員数」・「後継者の有無」にお答え下さい(該当する項目に○印)

商工会名		村松 商工会	担当職員名	
企業の概要	業種	1: 製造業    2: 建設業    3: 卸・小売業    4: サービス業他		
	従業員数(常用)	1: 0人    2: 1人~2人    3: 3人~5人    4: 6人~20人    5: 20人超		
	企業区分	1: 小規模事業者    2: 小規模事業者以外    (※記入不要/事務局記載)		
	後継者の有無	1: 有    2: 無		

①貴社の状況についてお答え下さい。(該当する番号に○を付して下さい。)

※本調査の期間は、上期(1~6月)・下期(7~12月)の6カ月を基準として回答をお願いします。

	前年同期(令和元年7月~12月) と比較して	前期(令和2年1月~6月) と比較して	今期(令和2年7~12月)と 比較した来期(令和3年 1月~6月)の見通し
売上	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少
採算(経常利益)	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
仕入単価	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下
販売(客)単価	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下
資金繰り	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
雇用動向	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少
景況判断	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化

②貴社の経営上の問題点(下記より上位3つまでを選び、○を付して下さい。)

- ①受注、販売競争の激化                      ②同業者、大型店等の進出                      ③過剰在庫  
 ④店舗、設備等の老朽化                      ⑤販売代金の回収難                              ⑥需要の停滞  
 ⑦仕入単価の上昇                              ⑧販売価格への転嫁難                              ⑨人件費の増加  
 ⑩人件費以外の経費増加                      ⑪事業資金の借入難                              ⑫従業員の確保  
 ⑬販売先からの値下げ要請                      ⑭税負担の増加  
 ⑮その他(    )

③今後の事業・経営において強化したい点等がありましたらご記入下さい(設備投資・販路開拓等)

※ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒にて12月14日(月)までに商工会へご返送下さい。



R2 業種別集計データ

1 製造業

	有	無	合計
後継者の有無	17	25	42
	40.5%	59.5%	

	前年同期比			前期比			今後の見通し		
	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下
売上	1	8	32	2	13	26	1	11	30
採算性	2	8	31	2	14	25	0	14	28
仕入単価	14	21	2	10	24	3	11	23	4
販売(客)単価	0	17	24	0	23	18	0	20	22
資金繰り	0	27	14	0	30	11	0	25	17
雇用動向	0	29	7	0	27	9	1	28	8
景況判断	0	10	31	0	10	31	1	10	31

	経営上の問題点	回答数
1 101	受注、販売競争の激化	20
2 102	同業者、大型店等の進出	2
3 103	過剰在庫	3
4 104	店舗、設備等の老朽化	12
5 105	販売代金の回収難	1
6 106	需要の停滞	26
7 107	仕入単価の上昇	12
8 108	販売価格への転嫁難	3
9 109	人件費の増加	5
10 110	人件費以外の経費増加	10
11 111	事業資金の借入難	3
12 112	従業員の確保	4
13 113	販売先からの値下げ要請	7
14 114	税負担の増加	7
15 115	その他	3

2 建設

	有	無	合計
後継者の有無	43	57	100
	43.0%	57.0%	

	前年同期比			前期比			今後の見通し		
	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下
売上	3	26	71	7	34	59	2	20	78
採算性	3	37	60	6	43	51	2	24	74
仕入単価	22	67	6	20	68	7	22	66	7
販売(客)単価	1	72	27	1	74	25	4	68	28
資金繰り	0	59	41	0	63	37	1	46	53
雇用動向	2	75	17	2	76	16	1	69	24
景況判断	2	29	69	2	42	56	4	27	69

	経営上の問題点	回答数
1 201	受注、販売競争の激化	41
2 202	同業者、大型店等の進出	8
3 203	過剰在庫	0
4 204	店舗、設備等の老朽化	25
5 205	販売代金の回収難	2
6 206	需要の停滞	47
7 207	仕入単価の上昇	21
8 208	販売価格への転嫁難	7
9 209	人件費の増加	17
10 210	人件費以外の経費増加	28
11 211	事業資金の借入難	8
12 212	従業員の確保	44
13 213	販売先からの値下げ要請	8
14 214	税負担の増加	28
15 215	その他	0

3 卸・小売業

	有	無	合計
後継者の有無	36	76	112
	32.1%	67.9%	

	前年同期比			前期比			今後の見通し		
	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下
売上	5	15	92	10	28	74	3	29	80
採算性	3	21	88	6	35	71	2	32	78
仕入単価	28	67	17	29	64	19	28	70	14
販売(客)単価	5	37	70	5	52	55	2	48	62
資金繰り	3	61	48	3	64	45	2	61	49
雇用動向	3	88	12	5	88	10	3	90	10
景況判断	3	21	88	1	24	87	1	25	86

	経営上の問題点	回答数
1 301	受注、販売競争の激化	37
2 302	同業者、大型店等の進出	47
3 303	過剰在庫	7
4 304	店舗、設備等の老朽化	44
5 305	販売代金の回収難	2
6 306	需要の停滞	72
7 307	仕入単価の上昇	25
8 308	販売価格への転嫁難	13
9 309	人件費の増加	9
10 310	人件費以外の経費増加	29
11 311	事業資金の借入難	5
12 312	従業員の確保	7
13 313	販売先からの値下げ要請	2
14 314	税負担の増加	13
15 315	その他	8

4 サービス他

	有	無	合計
後継者の有無	31	77	108
	28.7%	71.3%	

	前年同期比			前期比			今後の見通し		
	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下
売上	7	20	81	7	27	74	6	26	76
採算性	3	25	80	4	29	75	4	27	77
仕入単価	18	71	10	14	72	13	19	66	14
販売(客)単価	5	57	46	3	62	43	5	58	45
資金繰り	2	60	46	3	61	44	2	58	48
雇用動向	0	81	19	0	83	17	2	83	15
景況判断	0	26	82	2	26	80	2	24	82

	経営上の問題点	回答数
1 401	受注、販売競争の激化	30
2 402	同業者、大型店等の進出	23
3 403	過剰在庫	0
4 404	店舗、設備等の老朽化	35
5 405	販売代金の回収難	6
6 406	需要の停滞	61
7 407	仕入単価の上昇	23
8 408	販売価格への転嫁難	6
9 409	人件費の増加	13
10 410	人件費以外の経費増加	33
11 411	事業資金の借入難	4
12 412	従業員の確保	19
13 413	販売先からの値下げ要請	7
14 414	税負担の増加	16
15 415	その他	9